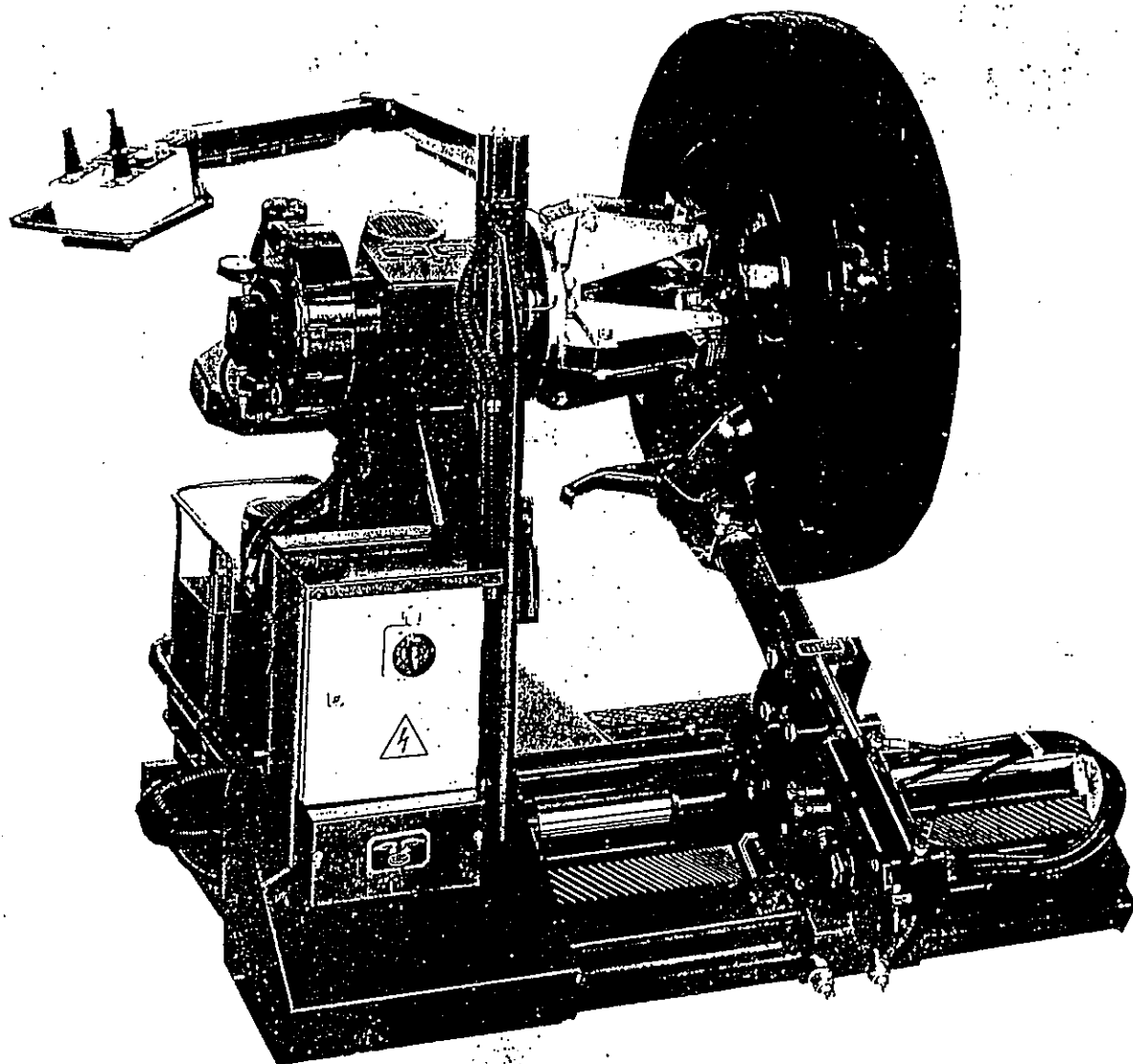


取扱説明書 TB 26 SUPER

— 210 —



USO E MANUTENZIONE
USE AND MAINTENANCE
UTILISATION ET ENTRETIEN
BETRIEBS-UND WARTUNGSANLEITUNG
USO Y MANTENIMIENTO

CATALOGO RICAMBI
SPARE PARTS CATALOGUE
CATALOGUE PIECES DE RECHANGE
ERSATZTEILKATALOG
PIEZAS DE REPUESTO



株式会社バングタイヤサプライズ

目次

パート 1

チェンジャー概要	-----	2
各部名称	-----	"
コントロールボックス	-----	3
チャッキング能力範囲	-----	"
ツール方向変換	-----	"
チャッキング方法	-----	4
チューブレスタイヤの脱着方法	-----	5
タイヤの組付け	-----	6
L型ツールを用いてビードを外す方法	-----	"
I型ツールを用いてビードを組込む方法	-----	7
割りがたリム（リング付き）の外し方	-----	8
” 組付け方	-----	9
保守整備	-----	9

パート 2

部品図、部品表はオリジナル取扱説明書（英文）を御参照下さい

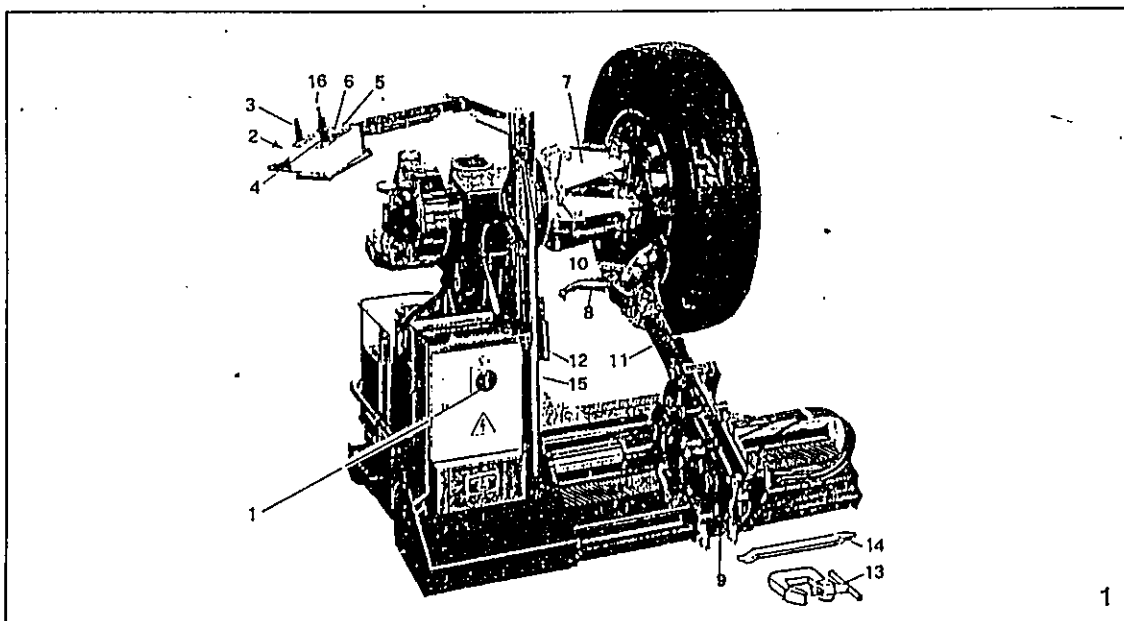
T B 2 6 スーパータイヤチェンジャー概要

T/Bチューブレスタイヤ、リング付きタイヤ、トラクタータイヤ、及び建設機械用タイヤの
広範囲にわたる応用の広い油圧式タイヤチェンジャーです。

最小14インチから、最大26インチまでの種々形状の異なるリムをチャッキング出来るようにしたタイヤ専門店向けの用途にあった仕様になっており、主軸の左右両回転、主軸の回転速度が2段切り換え式、又マウント、デマウントディスクが油圧回転式の新機構です。そして最も使い易い特徴として操作盤（コントローラーボックス）をスイングアーム式にして、どの位置からでも操作出来るように理想的にデザインにまとめてあります。

図 1

- 1) メインスイッチ
- 2) 主軸回転速度切り換えスイッチ
- 3) 主軸回転、及びマウント、デマウントディスク支持柱起倒用4方向コントロールレバー
- 4) 主軸上下、及び主軸前後移動用4方向コントロールレバー
- 5) チャック締め付け押し釦スイッチ
- 6) チャック締め付け解除押し釦スイッチ
- 7) ユニバーサル（自動求心）チャック
- 8) マウント、デマウントツール
- 9) マウント、デマウント支持柱移動架台
- 10) マウント、デマウントディスク
- 11) マウント、デマウント支持柱
- 12) ビードヘルパー
- 13) テーパーリングホルダー
- 14) タイヤレバー
- 15) ロングビードレバー
- 16) マウント、デマウントディスク回転レバー



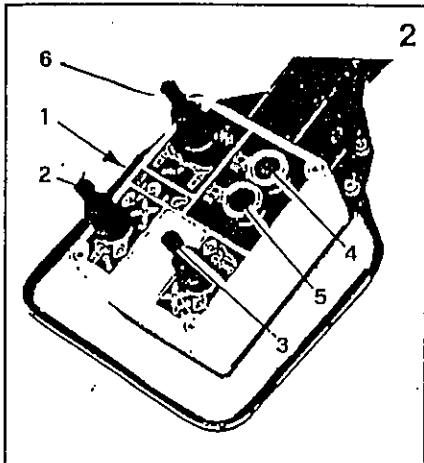
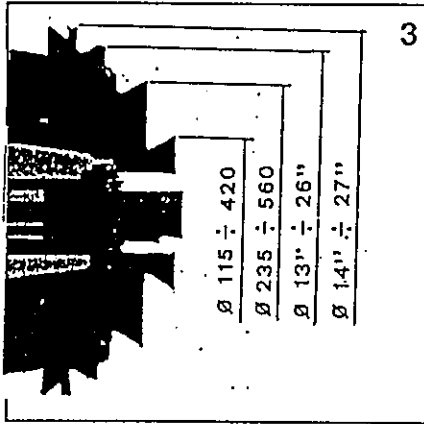


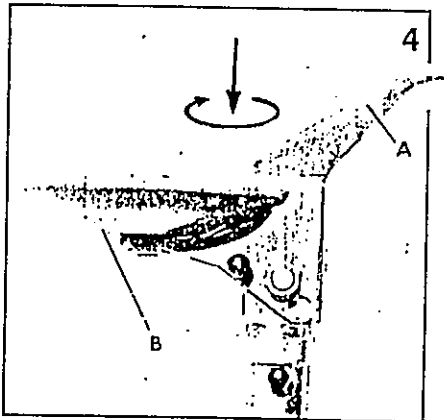
図 2 ユニバーサルコントロールボックス

- 1) 主軸回転速度切り換えスイッチ (1: 低速, 2: 高速)
- 2) 主軸回転, 及びマウント・デマウントディスク支持柱
起倒用方向コントロールレバー
- 3) 主軸上下, 及び前後移動用 4 方向コントロールレバー
- 4) チャック締め付け押し釦スイッチ
- 5) チャック締め付け解除押し釦スイッチ
- 6) マウント・デマウントディスク回転レバー



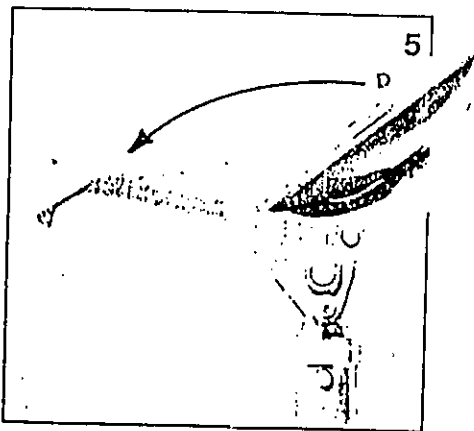
自動求心式チャックのチャッキング能力範囲 (図-3)

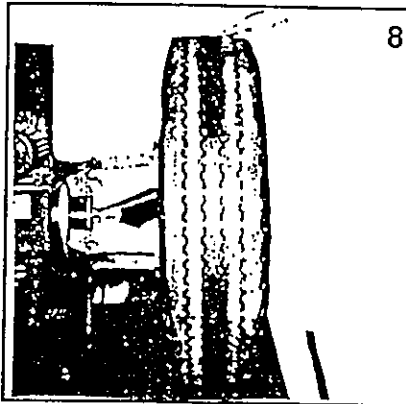
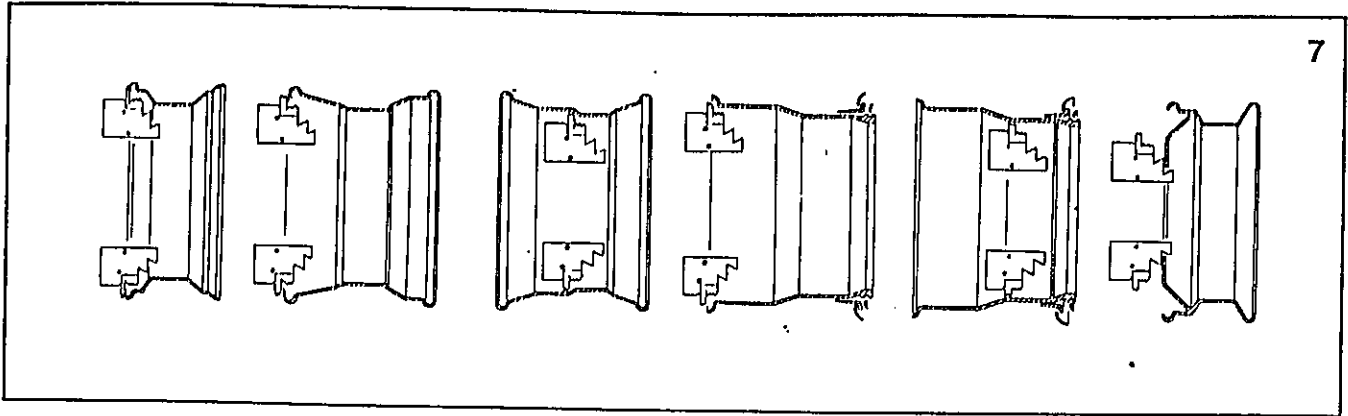
フランジディスクをクランプする場合	最小	115 mm
	最大	560 mm
リム部をクランプする場合	最小	13 mm
	最大	26 mm



マウント・デマウントディスク&ツール方向変換の仕方 (図-4)

マウント・デマウントディスク支持柱が垂直に立っている時、コントロールレバー (図 2-6) を操作する事に依り右又は左に回転します。





8

チャッキングの仕方は、リム或いはジスクの形状、種類により上図-7の様に成ります。
~8

ビードドロップセンターの位置は、必ず外側（右側）になる様に注意してセットして下さい。（図-9~10）

（参）

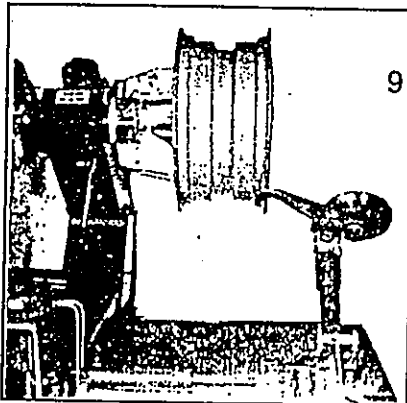
住友金属製アルミホイール（BS, ダンロップ, オーツ社）は、

この図のようにして下さい。

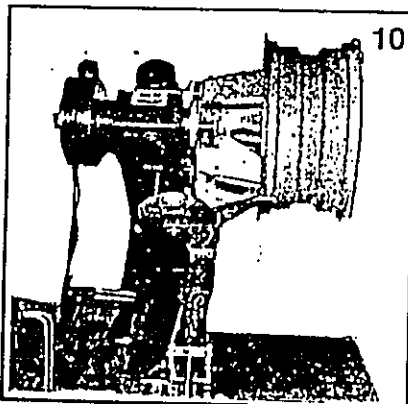
古河アルミ（アルコア）製アルミホイール（ヨコハマ, トーヨー社）は、

中心にあるのでどちらでも良い。

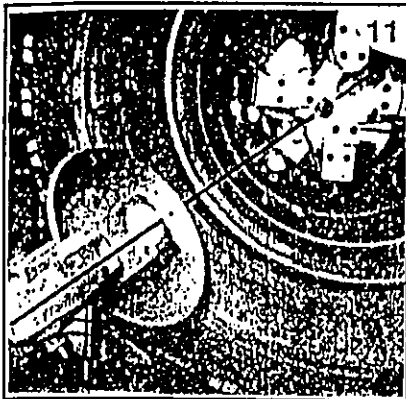
スチールホイールは、メーカーによって異なりますので注意してセットして下さい。



9

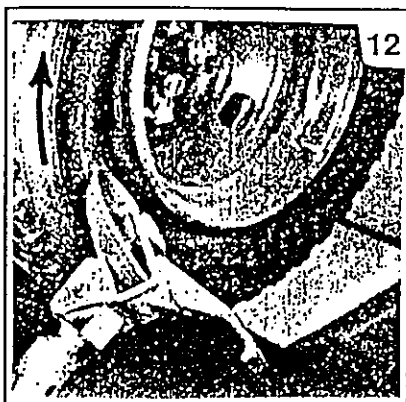


10

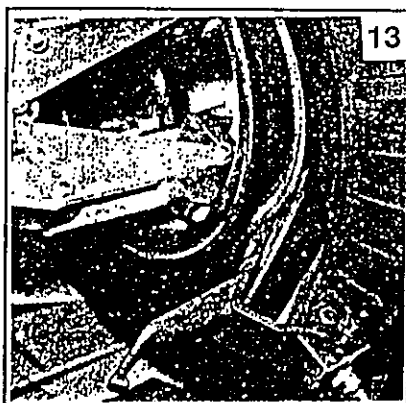


チューブレスタイヤの脱着方法

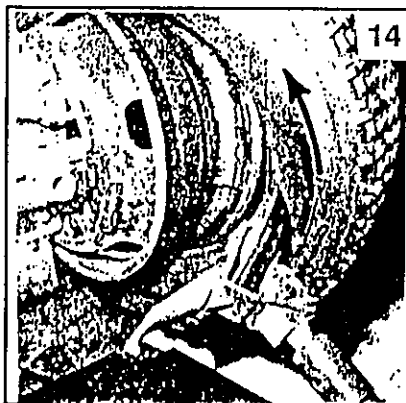
- 1) エアーを抜きます。
- 2) タイヤ/ホイールをチャックに固定した後、タイヤを上を持ち上げて手前の方へ移動します。
- 3) マウント、デマウントジスクを左回転します。
(マウント、デマウントジスクがタイヤを押す方向)
- 4) マウント、デマウントジスクを表側のビードを押す位置に持って来ます。(図-11)

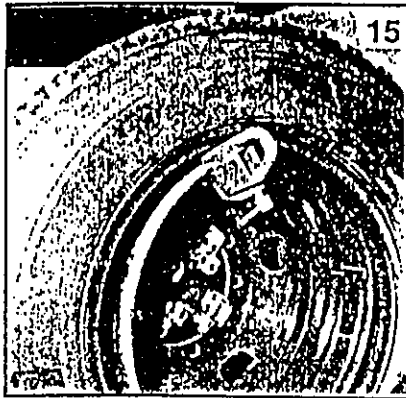


- 5) ジスクをビードに押し当てて右回りに回転しながらジスクを少しずつ送り込みビードを落とします。ビードとリムとの隙間を作りパングクリームをリムに塗布します。(図-12)



- 6) ジスクを垂直にして右回転し、ジスクを裏側に倒してビードを押す。そのままタイヤを回転させながらビードを押し続けるとタイヤが外れます。(図-13~14)



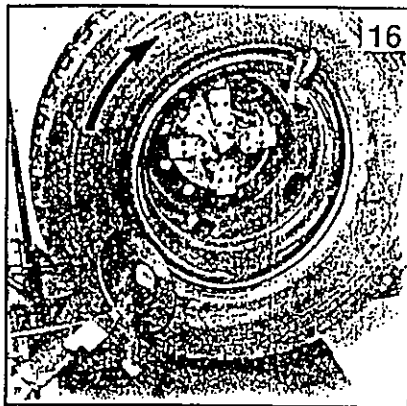


タイヤの組付け

- 1) ホイルをチャックに固定します。
- 2) リムエッジにビードホルダーを固定します。
- 3) ホイルを回転してビードホルダーを下に持って来ます。
- 4) タイヤのビード部にクリームを十分に塗りタイヤをホイールに乗せます。ジスクを左回転した後倒します。(ジスクはタイヤを少し押す程度に)
- 5) ホイルを右回転させてビードに引っ掛けて持ち上げます。(図-15)
- 6) ジスクでビード部を押しながら、ホイールを右回転して組込みます。

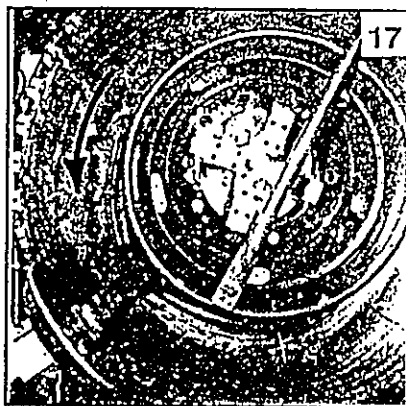
(図-16)

(アルミホイールはホルダーが使えないので手で抑えながら組込みます)



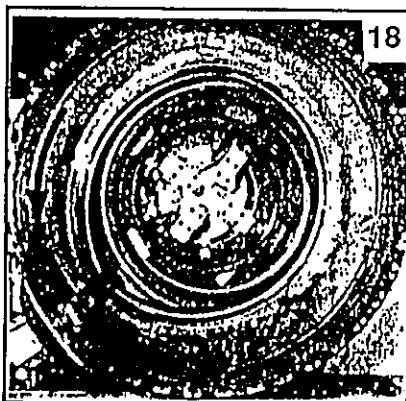
ビードホルダーを用いないタイヤの組付け方

- 1) ホイルをチャックに固定します。
- 2) タイヤをホイールに乗せます。
- 3) ジスクを左回転し、支柱を倒します。
- 4) 右手でタイヤを抑えタイヤを上にあげ、更にビードをジスクで押しながらタイヤを右回転させビードをき入れます。
- 5) 残りのビード部にクリームを十分に塗り引き続き右手で抑えながら右回転するとビードが入ります。

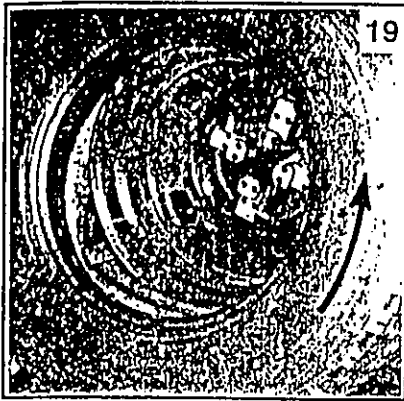


コンビネーションツールのL型ツールを用いてビードを外す方法

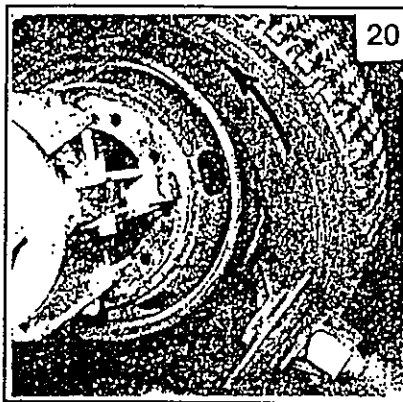
- 1) L型ツールをタイヤの方向に回します。更にL型ツールをピンを差し換えて上向きにします。
- 2) L型ツールをビードとリムの間に差し込みます。
- 3) タイヤを少し上昇させビードとリムの間に隙間を作ります。
- 4) 隙間にビードロングレバーを差し込みビードを出します。(図17)



- 5) 其のままタイヤを左回転させるとビードが外れます。(ビードがリムに噛んだらレバーを外します。)(図18)

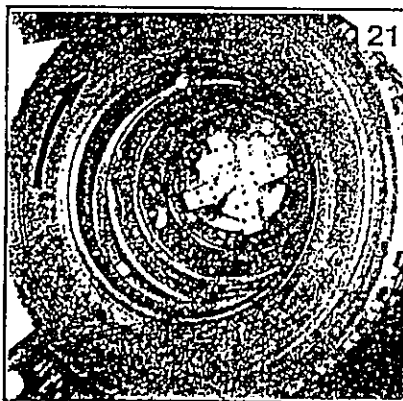


- 6) 次にL形ツールの向きを変え裏側に移動します。
- 7) 前と同様にツール差し込みリムの間に隙間を作り (図19)、前からレバーを差し込みビードを引き出し、タイヤを左回転させるとビードが外れます。
(図20)



コンビネーションツールのL型ツールを用いてタイヤを組込む方法

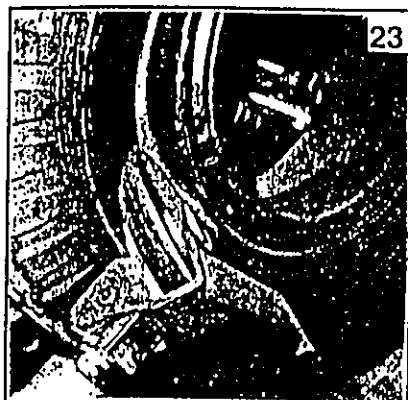
- 1) 偏平タイヤの場合、ディスクでは入りにくい時はI型ツールを用いて組込みます。
- 2) リムエッジにビードクランパーを固定します。
- 3) クランパーにビードを引っ掛けて持ち揚げます。



- 4) I型ツールを裏側に移動し、裏側のビードに差し込み右回転して組み入れます。(図21)

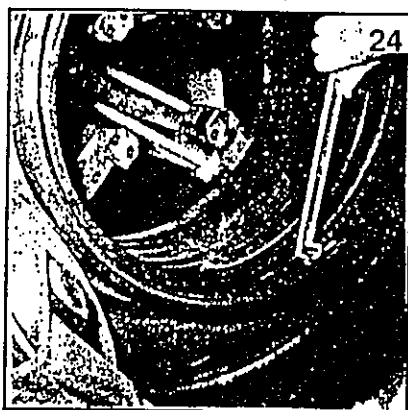


- 5) 次に表側にI型ツールを移動して、同様に手組込みます。(図22)

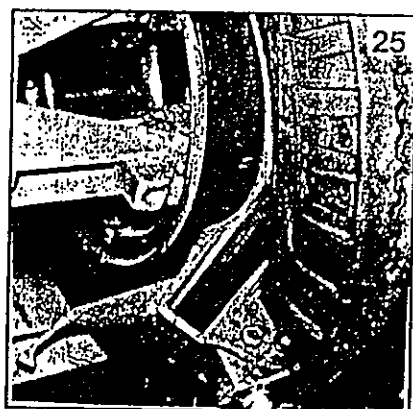


割りがたリム（リング付き）の外し方。

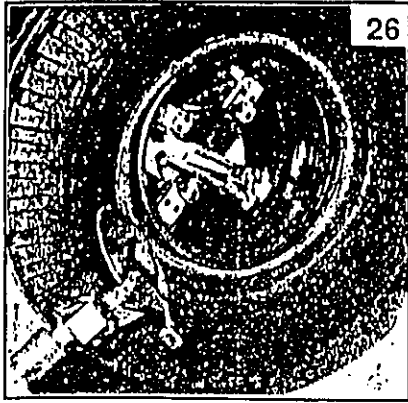
- 1) ディスクをリングとビードの間に差し込むようにして右回転しながら押し込み、リングとビードの隙間を作ります。（図-23）



- 2) 約1～2 cmの隙間が出来たら、リングを外します。（図-24）
- 3) 次にディスクを裏側に移動させ、ディスクをリムとビードの間に差し込むように



- 右回転しながらビードを押しで行きます。（図-25）
- ※ チューブ付きの場合は、バルブに注意してビードを途中まで押し、バルブを抜き出してからタイヤが外れるまで押しして下さい。



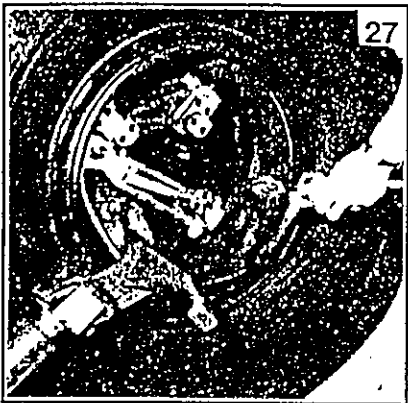
割り型リムの（リング付き）組付け方

タイヤビードとリムにパングクリームを十分塗布したのち、タイヤをインナーチューブ、フラップと共にリムにそう入して下さい。

次にテーブルの上にタイヤを乗せて、リムとタイヤビードの隙間を同心上に位置合わせ、インナーチューブバルブを穴に通してして下さい。

ディスクを使用して 2 番目のビードを押しながら十分に押し込んだの後に ロッキングリングリングを組付けます。

(図-26)



ツールディスクをリングの前方に置いてガードし、注意しながらエアを充填して下さい。

(図-27)

保守整備

- 1) マウント、デマウント支持柱移動架台のスライディングシャフトは常に綺麗にし、注油して下さい。
- 2) 3～6 ヶ月に一度、各グリースニップル部にグリースを注油して下さい。
- 3) 6 ヶ月に一度、各摺動部に潤滑油を注油して下さい。
- 4) ギヤボックス、油圧タンクのレベルゲージに注意し、油面が低い時は注油して下さい。

ギヤオイル： API DT100

油圧オイル： API CIS32 (ハイドロリック32)